

2012 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	戦略経営研究科	身分	教授
氏名	山本 秀男		
NAME	YAMAMOTO Hideo		

1. 研究課題

(和文) 変革期のプロジェクトリーダー育成のための教育手法の研究

(英文) Study on Training Methods of Project Leader for Innovation Program

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

我が国の企業経営における重要なマネジメント課題は、組織の変革とイノベーションの実現である。過去の企業組織の変革プロジェクトの成功要因を調査すると、トップの戦略的な意思を理解し、メンバーの気持ちを変化させるプロジェクトリーダーが存在していた。本研究は、そのような変革期のリーダーを育成するための教育手法を示すことを目的として開始した。

まず、変革プロジェクトを、将来構想の策定、システム構築の実行、変革の実現の3段階に分けたモデル（以下、スキーム・システム・サービスの3Sモデルと呼ぶ）を作成し、3Sモデルに対応してマネジャーに求められる行動様式を分類した。その結果、プロジェクトの開始段階と終了段階では、メンバーの気持ちを変化させ牽引するリーダーシップ能力が、中間段階では目標に向かって業務を遂行させるマネジメント能力が必要になることを示すことができた。さらに、変革期のリーダーを育成するためには、オペレーションズリサーチ等の研究成果をベースに作られた現在のプロジェクトマネジメント標準に準拠した教育だけでは難しいことを述べ、スキームモデルとサービスモデルにおいては、社会科学的研究アプローチや、人間行動をモデル化したソフトシステムズ方法論の活用が必要となることを示した。

本研究成果は国際P2M学会等の論文誌に投稿するとともに、企業リーダー育成教育のためのテキスト作成に反映させる。

(英文)

For projects, including organizational reform, to be successful, it is essential that CEOs exercise strong leadership and that program managers carry out their roles effectively at both the strategic planning stage and the goal-oriented performance stage. A particular emphasis is placed on the introduction of the soft systems methodology in action at the initial stage of an innovation program, in addition to use of the existing project management knowledge for building construction projects.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p>
<p>山本秀男：“イノベーションプログラムのマネジメントに関する考察” 国際プロジェクト&プログラムマネジメント学会論文誌、査読有、Vol.8 No.2 pp. 123-133, 2014年3月</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p>
<p>山本秀男, 豊田香, 湯野川恵美, 「SI企業のプログラムマネージャー育成に関する考察」 国際P2M学会 2013年度春季研究発表大会、東京工業大学, 2013年4月20日</p>
<p>山本秀男「P2Mの論理ー研究開発マネジメントに適用するための基本的な考え方ー」 国際P2M学会 2013年度秋季研究発表大会 特別セッション講演、東京農工大学, 2013年10月5日</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p>
<p>吉田邦夫・山本秀男編著、日刊工業新聞社『イノベーションを確実に遂行する 実践プログラムマネジメント』（2014年）</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>